

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER

2014-2015 Rotary International District 2760

ガバナー月信

1

2015 January



さいたんさい
歳旦祭

※掲載されている写真等の無断転載はご遠慮ください。

さいたんさい
歳旦祭

歳旦祭は暁闇まだ深く、中重でたかれる庭燎の焰色がかすかに玉垣をてらし出す午前五時、純白の斎服に身をかけたためた宮司以下祭員が本宮に参進して行われます。玉垣の奥深くで伶人の奏する雅楽の音はゆかしくひびき、宮司は神前に進んで「この年がよき年であるように」と祈念する御賀の寿詞を奏上します。

ガバナーメッセージ	2
ロータリー理解推進月間	3
新年のご挨拶	4
ガバナー活動報告	5
ガバナー公式訪問報告	6
委員会報告	12

お知らせ	15
ロータリーデー開催報告	16
ロータリーコーディネーターニュース	26
文庫通信	27
会員数及び出席報告	28





ガバナーメッセージ

ガバナー 近藤 雄亮

皆さん新年明けましておめでとうございます。私は半年間、皆様方のご協力が無事役目を果たすことが出来ました。あと半年あります。ここで新しく気合を入れ、後半に臨みたいと思い、衣替えをしました。少しボロですが、結構高級なんです。ところでお正月の“明けましておめでとうございます”ですが、普通は誰かが何かいい事があった場合、その人に向かっておめでとうと言う様に一方通行であります。しかし、新年に言うおめでとうは双方向であります。お互い顔を合わせ、おめでとうと言います。「1年の計は元旦にあり」と言われる様に、お正月は、日本では大変大切な節目になっております。年末には大掃除をして1年間にたまった塵を掃除すると同時に厄払いをし、年が暮れるのを穏やかに見送ります。そして、新しい年の穀物の実りをもたらし、いつも私達を見守って下さいます年神様をお迎えし、全ての物が新しく始まる節目として、新年を迎えられたこと、そして新しい出発をお祝いして、皆がお互い心より喜びあうといった意味でお互い双方向で気持ちを表すことだといわれております。

今月はロータリー理解推進月間であります。

1911年1月の「ザ・ナショナル・ロータリアン」創刊号の冒頭ポール・ハリスはこう言っております。もし、神の摂理によって、私がどこかのコロシアムの舞台に立たされて、大勢のロータリアンと向かい合い、瞬時のためらいも許されず、あらんかぎりの声で何か一言、言えと言われたら“寛容”と叫ぶでしょう。もし私達のこのロータリーが、つかの間の存在以上のものたるべく運命づけられているとすれば、それは皆さん方、そして私達がお互いの欠点を我慢し合う、即ち寛容の価値の何たるかを学び知ったからであると言えましょう。ロータリーというクラブ組織は歴史に全くその先例を見ないものです。羅針盤が発明されるずっと以前、危険な未知の海洋を、星を頼りに安全に航海した人々のように、今日、ロータリーの先駆者達は、遠い昔から人間を支配してきた不文律を守りながら、ロータリーというこの船の舵を取って、危険と未知そして困難の渦巻くこの世の中をたくみに導いてきました。今後私達のこの船が理性的な寛容、そして他人の信念に対する人間的な思いやりという安全コースから逸れることのないように祈ろうではありませんか。

ロータリーが100年以上脈々と歴史を築いてこられたのは、多様性とそれを認め合う寛容の精神がしっかり根付き、お互い双方向でおめでとう・有難うと言える付き合いができたからではないでしょうか。

会長・幹事・会員の皆さん宜しくお願いします。

Tolerance is the basic spirits of Rotary.



ロータリー理解推進月間に因んで

パストガバナー 豊島 徳三

ロータリー理解推進月間について、出稿を求められましたが、私の如き、錆びついた老タリアンに今更何を？正に釈迦に説法の誇りを覚悟で拙文を供します。

まず、ロータリアンとして、歴史、創生期の理念、哲学に触れてください。その手段の一つとして、数多くの文献があります。例えば、ハロルド・トーマス「ロータリー・モザイク」佐藤千寿「不易流行」廣畑富雄「ロータリーの心と原点」大村北RC「ロータリーの森を歩く」等々、是非一読を。次に、ポール・ハリス、アーチ・クランフ、米山梅吉、福島喜三次、先達各氏の理念業績、終歴等を調べてみて下さい。1948年～1949年度RI会長アンガス・ミッチェル（メルボルンRC）の演説に興味を感じましたので、その一部を引用します。

1950年、一宮RCのチャーターナイトの席上、当時の同クラブ会長安野譲次の話に感銘を受けたとの由、曰く「ロータリーは天の星をかき廻そうとするものではなく、足元の小さな石を拾い上げようとするものである。」一方、A. ミッチェル自身の理念は、ロータリーを単純に表すと、

仲間の人達の為に、それ相応の努力をつくし、仲間に友情を示すこと。競争相手であっても、いつも進んで、親切に公正を心がけ、友情を示すこと。地域の幸せの為、進んで貢献し、市民に愛情を持つこと。世界の平和と幸福の為に相互理解と協力を計り、国際間の友情を推進すること。と語っております。ロータリーは米国を源としており、風土、宗教、思想等、儒教教育の日本に育った私も異質なものを感じます。ロータリー言語も和訳されたもの故、時には理解に苦しみます。しかし共通した理念の元に集う。ロータリアンとして、

よりよき、ロータリアンたれ！

よりよき、奉仕活動の提供者たれ！



以上

(注) 文中、全て敬称を省きました。



新年のご挨拶

ガバナーエレクト 加藤 陽一

新年あけましておめでとうございます。本年は2760地区のロータリアンの皆様にとって素晴らしい一年になります様心よりお祈り申し上げます。

昨年はガバナーエレクトとして研修会の参加をはじめ勉強づきの一年でしたが、本年は1月のサンディエゴの研修会に行ってきます。本会議ではRI会長ラビンドラン氏から新年度のロータリーテーマが発表され、そのテーマにそって私の地区方針をたて皆様にお知らせしようと思っております。

近藤ガバナーは地区内全クラブを訪問されるという偉業を達成され今度の地区大会ではその報告をされる事と思いますが、私は地区方針にそって会員の皆様と共に楽しいロータリーライフをエンジョイ出来る様、頑張る所存でございます。私のガバナー年度には会員の皆様に色々とお世話になると存じますが宜しく願いして新年のあいさつとさせていただきます。



新年のご挨拶

ガバナーノミニー 服部 良男

国際ロータリー第2760地区の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年度は、黄其光 RI会長の「ロータリーに輝きを」というテーマのもと、近藤雄亮ガバナーの地区方針「集まろう・語ろう・楽しもう」の活動をガバナーノミニーとして参加させていただきました。先般行われた、ロータリー研究会では、黄 RI会長のロータリーに対する熱き想いを伺うことができ、ロータリーの新しい面を経験させていただきました。

また、第2760地区がこのように日本を代表する地区であることは、各ロータリーの活動はもとより、地区運営の携わっていただいている多く地区役員やスタッフのお蔭であること昨年の経験で知りました。

本年は、近藤ガバナーから 加藤ガバナーへと引き継がれるので、お二人のロータリーに対する想いと価値観を勉強したいと思えます。

今年も皆さまにとって素晴らしい年度であることを心より祈念してご挨拶とさせていただきます。





2016-18 年度 R I 理事ノミネー決定のお知らせ

国際ロータリー第 2760 地区 14-15 年度ガバナー 近藤雄亮



平素はロータリー活動に多大なるご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、この度、豊田ロータリークラブの斎藤直美パストガバナーが R I 理事ノミネー(任期:2016-2018 年度)に決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、2015 年ブラジル・サンパウロで開催されます国際大会で、R I 理事エレクトに選出されます。

何卒宜しくお願い申し上げます。

2017-18 年度 ガバナーノミネー・デジグネート選出の報告

国際ロータリー第 2760 地区 14-15 年度ガバナー 近藤雄亮

地区指名委員会(委員長 松前憲典パストガバナー)より、同委員会は 2014 年 12 月 4 日開催の地区指名委員会において 2017-18 年度のガバナー候補として、神野重行君(名古屋名駅ロータリークラブ)を指名した旨、12 月 4 日に報告を受けました。

国際ロータリー細則第 13 条の規定により、2017-18 年度ガバナーノミネー・デジグネートとして神野重行君の選出が確定いたしました。

※対抗候補者がありませんでしたので、正式決定となる事をご報告いたします。



かみの しげゆき
神野 重行

1947 年 5 月 23 日生

三重産業株式会社 代表取締役

2001 年 7 月	金沢東ロータリークラブ入会
2007 年 5 月	金沢東ロータリークラブ退会
2008 年 7 月 16 日	名古屋名駅ロータリークラブ入会
2010-11 年度	理事・会員増強委員長
2011-12 年度	役員・副会長 クラブ奉仕委員長
2012-13 年度	役員・会長エレクト
2013-14 年度	役員・会長
2014-15 年度	役員・直前会長

マルチプルポール・ハリス・フェロー/ベネファクター/米山功労者

瀬戸北ロータリークラブ

開催日 2014年11月4日(火)

報告者 幹事 荒井 康夫

3日間に及ぶ WFF（ワールドフード+ふれ愛フェスタ）が終了した翌日の大変お疲れの中、

近藤ガバナー、高須地区幹事にお越しいただきました。

例会前の懇談会の中で、まずは WFF が無事終了し、その参加に対するお礼を述べられました。また、「希望の風奨学金」は今後 19 年間にも及ぶ事業であり、それに対する長期的な協力要請、青少年奉仕活動のこれからの重要性・必要性についてお話がありました。

卓話では二宮尊徳の言葉“穿つに益なく譲るにいたる”、“積小為大”を引用しつつ、ロータリーの精神と共通する部分についてお話をされました。

近藤ガバナーのおだやかな人柄と、ロータリーに対する熱い思いを感じられるガバナー訪問でした。



小牧ロータリークラブ

開催日 2014年11月5日(水)

報告者 幹事 橋本 晃暢

11月5日（水）近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお迎えして懇談会ならびに例会を小牧コミュニティーホールで開催いたしました。

懇談会では現在当クラブの会員数が 30 人のため、いかに会員増強をしたらよいか近藤ガバナーから意見をいただき、当クラブから本年度事業、タイムカプセル事業の説明をしました。例会では、近藤ガバナーから 30 分の卓話をいただき、ロータリーの歴史、四つのテストの話をしていただきました。その後地域社会での奉仕活動という題目で 30 分間自由討論を行い、当会員から実際行っている地域の奉仕活動を紹介しました。

最後に近藤ガバナーから新しい会員も古い会員も感激を味わってロータリーを楽しんでくださいと、激励を受けました。例会を通して、短い時間でしたが、充実した有意義な例会を開催することができました。心から感謝申し上げます。





名古屋大須ロータリークラブ

開催日 2014年11月6日(木)

報告者 幹事 大原 敏正

11月1日から3日まで開催されたWFF（ワールドフード+ふれ愛フェスタ）の熱気も冷めやらない6日に、近藤ガバナー、高須地区幹事にはお疲れの様子も見られずガバナー公式訪問に来て頂きました。懇談会では「希望の風奨学金」への協力のお礼と、社会奉仕事業として「介助犬が活躍できる町、大須」の実行部隊の4頭の介助犬と共に撮ったWFFでの写真の話題から、地域に密着しそのニーズを知って奉仕する事の重要性についてご助言と意見交換が行われました。例会では様々な話題を取り上げ、ロータリーの本質とガバナーの熱い思いが伝わり、充実した例会となりました。



新城ロータリークラブ

開催日 2014年11月7日(金)

報告者 幹事 楠 芳高

新城ロータリークラブの公式訪問は、11月7日（金）に例会会場であります新城商工会館三階大会議室において近藤ガバナー、高須地区幹事にお越しいただき開催いたしました。

例会前の会長幹事懇談会では、冒頭に新城ロータリーの活動をご説明申し上げましたが、その中でガバナーからは、青少年奉仕に関する熱い思いをお話いただき、これからの地域を支える若者の育成の重要性を再認識させて頂きました。また、ネットを通じたeクラブについての質問に対して、基本的に『face to face』の気持ちは忘れてはいけないということをおっしゃられたことが印象的でした。

例会では二宮尊徳のお話を引用されながら、ロータリアンとしての奉仕の在り方の根本をお話いただきました。やはり自分の生活基盤がしっかりしていなければ真の奉仕は出来ないということ、そして目先の奉仕も大事だけれども長い視点での5年10年先を見据えて奉仕活動というのも地域でしっかりやっていくことが大事だというお話しに感銘を受けました。地域の皆さんに喜んでいただける奉仕活動を行うロータリーであり続けるよう会員一同取り組んで参ります。ありがとうございました。



あまロータリークラブ

開催日 2014年11月10日(月)

報告者 幹事 白井 幹裕

11月10日(月)、近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお迎えして「ガバナー公式訪問」が行われました。まず、例会前の懇談会では、近藤ガバナーよりクラブ運営につき貴重なアドバイスをいただき、また「希望の風奨学金」への支援協力の要請がありました。栗木会長から、当クラブも東日本大震災に対する息の長い支援に努めたいと賛同の意が示されました。

例会では、近藤ガバナーは、ロータリー財団及び米山奨学会への寄付に対し謝意を述べられました。そして、2760地区の方針につきご説明いただき、とりわけ会員増強に関しては、「増」のためにも、まず「強」に重点をおく方向性を示され、会員各自がロータリー活動を通じて、その価値を感じ、感動体験を共有することの大切さを強調されました。

大変示唆に富む、有意義な例会となりましたことに改めて感謝申し上げます。



渥美ロータリークラブ

開催日 2014年11月12日(水)

報告者 会長 青山 房生

近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお迎えした際、愛知県最南端の渥美ロータリークラブへようこそと申しあげました。ガバナーより常日頃、会議等で渥美から名古屋まで来ていただいて…とねぎらっていただきありがとうございます

ガバナーのスピーチ冒頭よりロータリー例会は作業着等普段着で、かつ、特別な食事でなく気軽に参加する(出来る)ところがよい。あたかも、月光仮面の「疾風のようにあらわれて疾風のように去っていく」のようで良いのではないのでしょうか。とのお話をいただき、これを地で行っている当クラブにとっては安堵いたしました。

そのあと二宮尊徳さんのお話をされ、二宮尊徳さんの言葉で「奪うに益なく、譲に益あり」まさしくRCのモットーと同じ、尊徳さんの江戸時代から日本にはRCの精神があると、渥美RCも次年度ガバナー補佐を中心に頑張ってくださいとのお言葉をいただきました。

日本は昔、農耕民族でしたが、2nd World War 後、狩猟民族化してきましたが、本日の二宮尊徳さんの話を含め、農耕・狩猟民族の良いところを持って頑張っていきたいと思えます。

近藤ガバナー並びに高須地区幹事には遠路はるばるお越し頂きご指導を受けました事を厚くお礼申し上げます。





岡崎東ロータリークラブ

開催日 2014年11月13日(木)

報告者 幹事 近藤 金作

平成26年11月13日(木) 国際ロータリー第2760地区ガバナー・近藤雄亮氏と地区幹事・高須洋志氏をローレライにてお迎えしました。

例会前の会長幹事懇談会では、当クラブ会長・三浦よりクラブ方針・奉仕事業をご説明し、近藤ガバナーからは“希望の風奨学金”の今までの経緯と今後の取り組みをご説明頂きました。ロータリー事業に関する多くの意見交換ができ、大変有意義な懇談会になりました。

卓話では、パラドックス(逆説)・パラダイムシフト(革命的な変化)の視点から“ロータリーがしかるべき運命を切り開くには常に進化しなければならない”ということと、今後のロータリーのあり方を勉強する事が出来ました。

単独でのガバナー訪問で力が入っていましたが、和やか且つ充実した例会となりました。

近藤ガバナーと高須幹事には、大変お忙しい中でのご来訪に感謝申し上げます。



尾張旭ロータリークラブ

開催日 2014年11月14日(金)

報告者 幹事 仲澤 昌容

さわやかな秋空の11月14日(金)尾張旭市商工会館に、近藤ガバナーと高須地区幹事が来訪されました。クラブの活動状況の報告、越えなければならない課題への対処方法の質問、地区への要望など、古橋裕志会長より提起させていただきました。

また、近藤ガバナー、高須地区幹事より、地区とクラブの関わり方の具体例や、ロータリアンとしてのこころの持ち方などお話いただきました。

合同ではなく、単独クラブの公式訪問の良さを大変感じるここのできた公式訪問でした。



名古屋中ロータリークラブ

開催日 2014年11月17日(月)

報告者 幹事 荒川 雅義

平成26年11月17日(月)、名古屋観光ホテルにおいて近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお迎えし懇談会及び例会を開催致しました。

例会前の事前懇談会では、近藤ガバナーより地区からの要望として「希望の風奨学金」に関する説明があり、次年度以降も引き続き継続活動していきたいとの協力要請があった。

例会卓話では、これからの会員増強は、「とにかく会員を増やせ」と言うのではなく、日本の状況を踏まえ、増強の「強」に注目しなければならないと考える。

11月1,2,3日に開催された「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」は、地区を強化するための格好の場であった。「ロータリーとは感動である。そしてロータリーは感動をシェアする場である」とのお考えを語られました。大変有意義な例会となり感謝申し上げます。



岩倉ロータリークラブ

開催日 2014年11月18日(火)

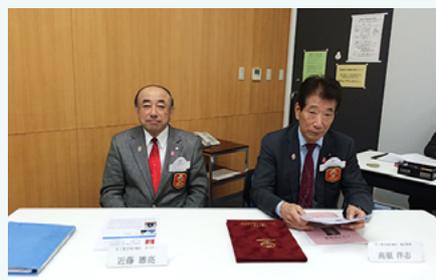
報告者 会長 深見 早恵

11月18日、サクランド岩倉の例会場に、近藤雄亮ガバナーと高須洋志地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立つ懇談会では、お二方から、各クラブと地区の現状についての詳細なご説明や当クラブへのご助言をいただきました。

例会とその後続いた自由討論でも、終始和やかな雰囲気ではじめられました。近藤ガバナーからは、「ロータリーの原点に戻るべき時である」として、「紳士たれ、大志を抱け、ポールハリスのように」とのお言葉もいただきました。根底にあるロータリーの精神を忘れてはならないとの非常に示唆に富んだお話に、改めてロータリーの原点に思いを致した次第です。

また、当日は、近藤ガバナーより、米山記念奨学会1千万円達成クラブの感謝状を拝受いたしました。ご多忙の中、当クラブをご訪問いただいた近藤ガバナーと高須地区幹事に心から感謝申し上げます。今後ともご指導の程宜しく願いいたします。





名古屋東南ロータリークラブ

開催日 2014年11月19日(水)

報告者 幹事 鋤柄 喜彦

11月19日 近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお迎えして懇談会並び例会を開催致しました。

懇談会では、伊東会長から当クラブの本年度の状況やクラブの特徴を説明させて頂き、ガバナーからは米山奨学会への理解を深める必要性について話があり、さらにこの訪問で体験したことは「広報の難しさがある」とのお話もありました。

クラブ内にてロータリーの友やガバナー月信の紹介などを行うことにより、会員がロータリー活動についての理解がより深まるのではないかとのお言葉も頂きました。

さらに、東日本大震災の遺児を応援する「希望の風奨学金」への協力を依頼されました。

例会では、RIのゲイリー・ホアン会長のテーマについて「一人一人の会員が光輝くことによって、光を放つでしょう。そして、一つ一つのクラブが光を発することができるならば、地区は光を放つでしょう。そして、RI、世界のロータリーは光を放つ。」その為には例会へ出席し、会員同士のコミュニケーションが十分にされ、心に残るロータリー体験を語りあうことが大切だと強調されました。ガバナーのロータリーに対する思い入れに感銘し、充実した1日となりました。ありがとうございました。



春日井ロータリークラブ

開催日 2014年11月21日(金)

報告者 幹事 近藤 太門

去る11月21日に近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお迎え致しました。本年度は各クラブ単独訪問ということで、例会前の会長幹事懇談会・例会とも、じっくりお話しを聴く機会に恵まれました。

春日井RCはこの数年、市事業への協力、フィリピン小学校への水洗トイレ寄贈、あしながおじさん事業など対外的な奉仕活動に力を入れており、その成果が会員増強としても表れていることをご報告いたしました。近藤ガバナーからは、自クラブが行っている良い活動は他クラブにも知ってもらう広報が大切とのアドバイスをいただきました。また「希望の風奨学金」についてもご説明いただき、複数年度にわたる事業継続性の必要についても理解することができました。

今回のガバナー訪問により、地区とクラブとが協力しあってロータリーを良くしていくことの大切さを再認識しました。ありがとうございました。



地区ローターアクトクラブ国内研修

地区ローターアクト代表 坂上 卓史

地区として毎年行っている国内研修を、今年も実施させていただきました。今年は一宮ローターアクトクラブがホストとなり、『ココロオドル』というテーマのもとに、神奈川西部に受け入れて頂いて、行いました。行事は一泊二日で行いました。一日目は鎌倉散策と親睦会。二日目はワークショップという内容でした。

鎌倉散策は、現地のアクターと一緒にグループを組んで行いました。鎌倉の伝統文化を学ぶ3つのプラン、ものづくり、食、パワースポット巡り、を用意して、各グループが希望するプランで行動しました。私はパワースポット巡りを選択しました。鎌倉の伝統的な建造物を見学させていただき、現地アクターのガイドも素晴らしく、大変貴重な経験ができました。

その後、横浜のホテルに向かい、親睦会を実施いたしました。神奈川西部以外にも、神奈川東部、東京北部、千葉のアクターも駆けつけてくれて、例年以上に中身の濃い情報交換と親睦を図ることができました。

二日目はホテルの近くのセミナールームを使い、朝からワークショップを行いました。グループに分かれて、これまでの各々の例会の経験を共有し、そこからココロオドル例会を企画立案するという内容でした。前日に十分な親睦が図れたこともあり、非常に積極的な議論が行われ、各グループが独創的は発想で企画を発表しました。

その後、現地のアクターと分かれ、横浜の中華街で昼食をいただき、愛知へと戻りました。行事が終わった今も、FacebookやLINEなどで互いに連絡を取り合っているアクターも多く、持続的な関係性の維持が期待できます。

総じて、一宮ローターアクトクラブの素晴らしい準備と、神奈川西部のアクターの協力により、例年以上の非常に価値のある行事になったと思います。次年度以降もますますの意義のある行事になるよう、研修協議会などでの引き継ぎを行って参ります。





国際ロータリー第2760地区米山奨学生・学友合同クリスマス忘年会

地区米山奨学委員会 委員長 伊藤 敦夫

米山奨学生、学友合同忘年会を2014年12月13日キャッスルプラザホテルにて開催。



近藤雄亮ガバナー、加藤陽一ガバナーエレクト、田嶋好博米山記念奨学会理事をお迎えし、今年も大学の先生方、2630地区と2620地区の学友の参加もあり、出身国は実に22ヶ国で総勢169名の大忘年会になりました。国、地域を超えての交流が出来る事はロータリー米山の魅力でもあります。

今年は民族衣装の披露から始まりました。私委員長の伊藤もベトナムの民族衣装に身を包みました。発表会中国の奨学生による太極拳、モンゴルの奨学生の民族楽器演奏、学友の子供さんのピアノ演奏、学友のヨガパフォーマンス、2人のメキシコ出身奨学生によるアカペラ、今年のアトラクションは瀬戸の和太鼓の演奏など多彩なプログラム。続いて昨年同様、ガバナー、米山理事、委員長、米山委員、学友会から景品の提供を頂き、大抽選会に会場も大いに盛り上がりました。その後『手に手つないで』と全員での記念写真。絆が一層深まった忘年会になりました。感謝感謝！



ガバナー賞、理事賞、委員長賞ほか抽選風景





ロータリー平和フェロー決定のご報告

地区奨学基金・学友・平和フェローシップ委員会 委員長 小島哲夫

この度、2006-08 年度の財団奨学生としてイタリアのボローニャ大学に留学した澤屋奈津子さん（スポンサークラブ 名古屋大須RC）が、2015-17 年度ロータリー世界平和フェローに承認され、米国ノースキャロライナ大学チャペルヒル校のロータリーセンターに留学することになりました。当地区では、2010-12 年度オーストラリアのクィーンズ大学ロータリー平和センターに留学した水野真希さん（スポンサークラブ津島RC）に続く2人目となります。ロータリー平和フェロー修士コースは世界中で年間50人（5センター）しか承認されない難関の奨学金制度で、ちなみに本年度の日本のフェロー合格は2名だけでした。澤屋さんは、これまでに紛争地域における孤児院での支援活動など多くのキャリアを持ち、乳幼児教育や母子保健を確立して地域の将来を担う子供達が健康で健全に成長して行くことが地域の平和構築の継続にも必須であるとの確固たる信念をもち活動をしてきました。フェロー終了後は、私たちの前で卓話などを通じて、有意義な話をして頂けることを楽しみにしています。



ハイライトよねやま 177

2014年12月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

2015-16 年度地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

2015-16 年度の地区米山記念奨学委員長を対象とした第1回セミナーを12月2日、都内で開催しました。午前には、若林紀男学務・学友担当理事からのごあいさつを皮切りに、当会事務局長の岩邊 俊久から事業の全般説明、また、毎年好評の安増惇夫理事（第2700地区）による米山記念奨学委員長の実務についての講義が行われました。午後は、各自が希望するテーマのセッション2つに参加し、グループディスカッションが行われました。セッションの間には、第2820地区米山学友会会長の崔玉芬さん（2007-08/大洗RC）がスピーチし、学友会の再建に向けた取り組みについて、自らの経験を語りました。

6時間にわたる長丁場のセミナーでしたが、「視野が広くなり、他地区との交流が深まった」「地区での実践に生かせる内容だった」など、全体的に高い満足度の評価をいただきました。師走のお忙しい中、ご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。





尾西ロータリークラブ創立 60 周年を祝う会

副実行委員長 犬飼 万壽男

尾西ロータリークラブ創立 60 周年を祝う会を去る 2014 年 11 月 22 日にウェスティンナゴヤキャッスルにて開催しました。当日は近藤雄亮 RI2760 地区ガバナー、高須洋志地区幹事、野杵章夫ガバナー補佐、谷一夫一宮市長はじめ名古屋ロータリークラブ及び西尾張分区内のロータリークラブの方々など多くの招待者のご出席をいただき、加藤博行会長の点鐘により祝う会が始まりました。

最初に加藤博行尾西ロータリークラブ会長より、歓迎の挨拶に続き、尾西ロータリークラブが名古屋ロータリークラブ、一宮ロータリークラブをスポンサークラブとして、昭和 30 年（1955 年）11 月 18 日に創立され RI 加盟は 12 月 17 日に、認証書伝達式は翌年 10 月 28 日、初代会長橋本新太郎氏をはじめとするチャーターメンバーにより執り行われたとの紹介がありました。

つづいて記念事業として一宮市、ロータリー財団並びに米山奨学会、尾西信用金庫へそれぞれ金目録が送られました。

このあと、谷一宮市長よりご祝辞を頂きました。その中で 2 市 1 町の合併から 10 年が経とうとしている。この間市民にとって生活に不可欠な施設の整備に努めてきた。これからはそれらのハードを使って、暮らしやすい新しいまちづくりをすすめていかなければならない。ロータリークラブや他の団体そして市民の方々との協働によって実現したいとのお話がありました。

近藤ガバナーからもご祝辞を頂き、創立当時は高度成長期に入る時代でもありロータリークラブ活動活発な時期であった。しかし近年活動は停滞しているように思われるが、継続こそが力となる。これからも新世代育成などクラブ会員一丸となって頑張ってもらいたいとのお話がありました。

その後、森新幹事から祝宴のことばに始まり白石名古屋ロータリークラブ会長の乾杯のご発声の後、祝宴にはいりました。祝宴の中、野杵ガバナー補佐、磯部一宮ロータリークラブ会長よりテーブルスピーチを頂くなど終始和やかな雰囲気ですごした後、ロータリーソング「手に手つないで」を斉唱し犬飼副実行委員長の閉会のことばにより終宴しました。





半田南ロータリークラブ

開催日：2014年8月26日(火)18時より

報告：幹事 岩部雅人

このたび多数のゲストをお迎えして、当クラブのロータリーデー(親睦夜間例会・バーベキュー大会を同時実施)を開催しました。

当クラブ会員で地区会員増強委員会委員長である石川勝彦君の協力により、特設会場が用意され、多彩なプログラムが実施される中、多くの方々に当クラブの活動、ひいてはRC全体の存在と特色ある活動とを改めてご理解いただくことができました。

当日は、田中正規パストガバナー、近藤雄亮ガバナー、加藤陽一ガバナーエレクト、高須洋志地区幹事、地区会員増強委員会の皆様、地区事務局の皆様、西三河分区の西尾RC・西尾キララRCの皆様、また南尾張分区からは牧野克則ガバナー補佐、磯部栄分区幹事、半田RC・常滑RC・東海RC・知多RCの皆様、さらに中日新聞社様、中部経済新聞社様にご出席をいただきますとともに、当クラブ会員は勿論、そのご家族の皆様、各方面でご活躍の地域の皆様にも大勢参加していただきました。

例会では、当クラブが応援させていただいている半田ジュニアブラスバンドの華やかで力強い演奏によりオープニングが飾られ、当クラブ会長による活動報告に続いてガバナーよりご挨拶を頂戴しました。

次に当クラブ地区補助金事業として、半田市立半田中学校学校応援団に高速印刷機が贈呈される旨発表され、当クラブ会長より権田昭校長先生に目録が手渡されました。

また、当クラブ支援のロータリー地域社会共同隊(RCC)「半田災害支援ボランティアコーディネーターの会(VCの会)」による活動報告が行われたのち、当クラブ会長より廣江好矩VCの会会長に支援金目録が贈呈されました。

懇親会は、牧野ガバナー補佐による乾杯により開始され、半田ジュニアブラスバンドの皆さんの快奏、当クラブ会員杉浦豊幸君がドラムを務めるジャズバンドによる情趣溢れる熱演、それに参加者飛び入りによる熱唱が繰り広げられる中、上等な食材をふんだんに使ったバーベキューに舌鼓を打ちながら、親睦は広められ、深められていきました。

大抽選会で盛り上がった後は、全員が一つの輪となり、ロータリーソング「手に手つないで」を合唱、大団円を迎えました。

RCの奉仕活動と親睦活動とを共に体感していただける充実した、意義深いロータリーデーになったと感じています。

最後に、ご出席いただいた多くの皆様、準備・運営にご尽力くださった多くの方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

中部経済新聞

2014年(平成26年)9月9日 火曜日 (16)

ロータリーライオンズ青年会議所 キワニス

地域へ支援ともに楽しむ

半田南ロータリークラブの懇親会は、このほど半田南一帯の石川勝彦君(半田南ロータリーデー)バーベキュー例会を主催し、同RC第260地区の01415年ガバナーの近藤雄亮氏をはじめ、RCの南尾張分区、西三河分区の会員など約10人が参加し、親睦を深めた。

半田南ロータリークラブの懇親会は、半田ジュニアブラスバンドの演奏で幕開け。機長は、演奏がバナーが並び、「食後だけでなく家族や一般の人にも活動に参加してもらい、共に楽しむこと、ロータリーへの理解を深めてもらう」というテーマで、ロータリー会長の言葉をガバナー自身が紹介していた。今日までの一日であり、参加者全員でロータリーを楽しくしようと呼びかけた。

その後、スライドで半田南ロータリークラブの活動が発表された。同会の活動報告も行った。

また、バーベキュー例会では、参加者全員で楽しむ半田ジュニアブラスバンドの演奏が花を添えた。

半田南ロータリークラブの懇親会は、半田ジュニアブラスバンドの演奏で幕開け。機長は、演奏がバナーが並び、「食後だけでなく家族や一般の人にも活動に参加してもらい、共に楽しむこと、ロータリーへの理解を深めてもらう」というテーマで、ロータリー会長の言葉をガバナー自身が紹介していた。今日までの一日であり、参加者全員でロータリーを楽しくしようと呼びかけた。

その後、スライドで半田南ロータリークラブの活動が発表された。同会の活動報告も行った。

また、バーベキュー例会では、参加者全員で楽しむ半田ジュニアブラスバンドの演奏が花を添えた。

半田南ロータリークラブの懇親会は、半田ジュニアブラスバンドの演奏で幕開け。機長は、演奏がバナーが並び、「食後だけでなく家族や一般の人にも活動に参加してもらい、共に楽しむこと、ロータリーへの理解を深めてもらう」というテーマで、ロータリー会長の言葉をガバナー自身が紹介していた。今日までの一日であり、参加者全員でロータリーを楽しくしようと呼びかけた。

その後、スライドで半田南ロータリークラブの活動が発表された。同会の活動報告も行った。

また、バーベキュー例会では、参加者全員で楽しむ半田ジュニアブラスバンドの演奏が花を添えた。



一宮中央ロータリークラブ

開催日：2014年9月23日(火・祝)

報告：森眞

“ロータリーデー 第7回ロータリーカップ 青少年サッカー大会” 「今年も青少年サッカー大会で充電」

第7回になるロータリーデー・ロータリーカップ青少年サッカー大会は、今や地元のサッカー少年たちのひとつの目標ともなっているようです。9月23日(火・祝)、一宮市総合体育館に集まった32チーム、314名の児童たちの熱戦が繰り広げられました。

午後の決勝トーナメントに移ると、詰めかけた両親たちの応援もヒートアップ。チャンスが訪れるたびに、盛んな声援が飛び交います。PK戦でゴールを外した少年の悔し涙が、ロータリーメンバーの心を打つシーンも勝負を争うスポーツならではのもの。

ロータリアンチームとローターアクターチームのエキジビションゲームも行われ、日頃の運動不足?が露見。会場になごやかな雰囲気を漂わせました。戦いの後の表彰式。少年たちからこぼれる笑顔は、ロータリーメンバーへの何よりの贈り物です。ほどよい疲れが心地よい一日となりました。



瀬戸ロータリークラブ

開催日：2014年9月27日(土)、28(日) 報告：幹事 刑部 祐介

2014年9月27日(土)、28(日)に瀬戸市街地で開催された「第20回 来る福 招き猫祭り」の「にぎわい広場」のメインブースで、ポリオプラスチャリティイベントを「さくらんぼ育成会 RCC」と協同で瀬戸ロータリーデーとして開催いたしました。

「さくらんぼ育成会 RCC」は、昨年度、瀬戸市立特別支援学校に通う児童・生徒への地域文化の伝承と健全育成を目的に設立され、陶芸教室などを実施いたしました。本年度は、瀬戸染付けにチャレンジし、招き猫にオリジナルの絵付けをしてもらい当日、優秀作品の展示をいたしました。子供たちに絵付けを体験してもらう為に RCC 隊員が事前に絵付けを習い、練習して先生と共に子供たちを指導してもらいました。そして、チャリティイベントの為に、様々な陶製招き猫グッズに絵付けをしてもらい当日、子供たちがキャリア教育の一環として販売体験を行いました。会場に「いらっしやいませ〜」「ありがとうございました〜」と大きな声が響きました。後で聞いたのですが、子供たちは、販売研修を受けたあと、一生懸命練習したそうです。招き猫グッズは2日間で完売し、子供たちにも大きな自信になったことと思います。後に、学校から特別支援学校の子供たちはいつもほどこされる側であり、自分たちが地域や世界の人々に奉仕できることの喜びを伝えることが出来、とても意義ある事なので、来年以降も続けたいとの申し入れを頂きました。

瀬戸ロータリーのメンバーは、チャリティイベントの PR うちわを来場者に配り、募金箱を持ちポリオ撲滅を訴えました。小さな子供からおじいちゃんおばあちゃんまで、本当に多くの人々に募金をして頂きました。瀬戸ロータリーでは、5年前から地域のコミュニティFMラジオを通じて、世界のロータリアンがポリオ撲滅の為に活動していることを毎週 PR してきました。その成果が少なからず出たのではないかと考えています。

最後に、このチャリティイベントでの売上金 64,000 円、募金で集まった 113,004 円すべて、ロータリー財団ポリオプラス基金に寄付させて頂いたことをご報告申し上げます。



安城ロータリークラブ

開催日：2014年10月25日（土）

報告：社会奉仕委員長 恒川憲一

当クラブは安城産業文化公園デンパークの秋穫祭のメインイベント、ハロウィンダンスパーティに協賛という形でのロータリーデーとなりました。

永谷会長の仮装の勢いもあってか、いつも以上に元気な応援の挨拶ではじまりました。

子供から大人までの9チームが日頃の練習の成果を、めいっばい発揮し会場の観客を感動させました。

司会に地元人気パーソナリティ YO!YO!YOSUKE、参加賞もヨーヨーで盛り上がりました。

午前と午後の部の間に移動例会を実施、卓話はデンパークの小笠原美貴夫氏に園の紹介をしていただき、参考になりました。

地元住民の方々が参加の地域貢献イベントを支援でき、みんなが喜んでいる姿をみると本当に協賛したよかったと思いました。

夜も安城ロータリークラブのハロウィンワインパーティが開催され、1日中盛り上がった有意義なロータリーデーとなりました。





岡崎東ロータリークラブ

開催日：2014年10月26日（日）

報告：社会奉仕委員長 坂野 弘

岡崎平和学園&岡崎東ロータリークラブ「いも掘り収穫体験」

実施日 2014年10月26日（日）

場所 岡崎農遊会農場

参加者 岡崎平和学園（親元を離れて過ごす、幼稚園年長者～小学生、中学生、高校生）の40名位と、その職員、ボランティア、ローターアクト会員、ロータリーのファミリー合計80名ほどで開催

協力 NPO 法人岡崎農遊会の皆様、岡崎ローターアクトクラブの皆様

親元を離れて生活している平和学園の子供たちと「いも掘り収穫体験」を通じてふれあい、ロータリーを広めるという主旨を実行できました。

当日初めは小ぶりの雨がふることもあったのですが、いも掘りが始まってからは雨もやみ、子供たちの大きな歓声と共に、楽しい時間を過ごせました。

大物賞を7位まで出したのですが、その重さの計測に子供たちがいもを持ってくる生き生きとした顔を見て、今回のロータリーデーの成功を確信すると同時に、開催してよかったと思いました。

岡崎平和学園の園長さんより、子供たちの外でのふれ合いの場を設けていただき、大変感謝されました。また、後日、子供たちがB紙に「お芋おいしかったです。」などの感想を書いたものをいただき、子供たちの心にも残る経験を出来た事を誇らしくも感じました。





東海ロータリークラブ

開催日：2014年11月1日（土）
2014年11月2日（日）

報 告：社会奉仕小委員会 小委員長 小島 博也
クラブ広報委員会 委員長 井上 正人

東海ロータリークラブでは、2日間にわたりロータリーデーを開催いたしました。

＜東海ロータリーデー in Tokai＞

今年は、東海ロータリーデー in Tokai として11月1日（土）に少年剣道大会を行い、市内の小学生、中学生に日ごろの剣道の腕を競っていただきました。

その会場で、ロータリーの活動を剣道関係者の方々や、参加した小中学生の保護者の方々にアピールしました。特にポリオ撲滅に向けてロータリーが世界的に活動し、ポリオの撲滅がもうあとわずかという点について資料を使って説明することができ、今までにない形でロータリー活動がアピールできたと思います。

今後も、市民のみなさんと一緒に活動する時には、ロータリーのことを少しでも理解してもらえるようアピールしたいと思います。また、同時にこのような広報活動が、会員増強の一助になって同士がもっと増えていくことを望んで活動します。

（社会奉仕小委員会 小委員長 小島博也）

＜東海ロータリーデー in Nagoya＞

11月2日（日）に地区開催の「ワールドフード＋ふれ愛フェスタ」会場近くのテレビ塔のレストランで、東海ロータリーデー in Nagoya- 第2200回記念家族例会 - を開催しました。

会長あいさつでは、いつもの家族例会では話さない内容（ロータリーがいかに素晴らしい活動をしているか）をしっかりと時間をとって話されました。また、家族にもロータリーを知ってもらうために、活動内容や奉仕、国際ロータリーについてのビデオ上映を行い、家族はもちろん会員にもロータリーへの理解を深めていただけたのではないかと思います。

おいしい料理とお酒で大変盛り上がった中で会を閉じ、その後、外はあいにくの雨模様でしたが、それぞれが「ワールドフード＋ふれ愛フェスタ」を満喫して帰路につきました。

（クラブ広報委員会 委員長 井上正人）





名古屋瑞穂ロータリークラブ

開催日:2014年11月1日(土)~3日(月・祝)

報告:幹事 堀 慎治

11/1 から3日間のワールドフード+ふれ愛フェスタにてロータリーデーを開催しました。当フェスタはトータルして無事成功することができました。来場客は目標値を超え、イベントに参加頂いた方々からも貴重な経験や国際交流ができたという声も寄せられました。

初日はあいにくの大雨からのスタートでした。名古屋瑞穂ロータリークラブのロータリーデーとして「骨密度・血圧のワンコイン検診」を行うブースを開設し、時間内に多数の来場者を得る事ができ目標を達成することができました。クラブメンバーも雨の中多数参加し、ロータリーの友情と親睦を高めることができました。

2・3日目は晴天に恵まれ、栄のど真ん中でのイベントの開催ということもあり、ロータリーメンバー以外の来場者も多くみられました。また、各国の料理はどれも人気があり長蛇の列ができているブースもあり、子供からお年寄りまでが楽しめるものとなっていました。イベントには色々な国の演奏・演舞があり国際交流というテーマに見合うものとなっていたと思います。

改善点をあげるとすれば、雨が降った際テント内での休憩スペース確保の必要性、PR不足だと思います。また、検診時間が足りず、必ずしも来場者に満足してもらうことができなかったと思います。

今後の開催の際には一般のお客様も参加していただけるよう今回同様テーマを決め、ロータリークラブの活動に興味を持ってもらい、かつ今後のグローバル社会において世界の多様な文化・価値観を学べる場を提供し続けられたらと思います。そのためにも更なるロータリーの絆を深め、考えを共有し高め合っていければと思います。





名古屋東南ロータリークラブ

開催日：2014年11月3日（月・祝）

報告：幹事 鋤柄 喜彦

名古屋東南ロータリークラブは本年11月1日から3日の3日間に名古屋市中区久屋大通公園で開催された、ワールドフード+ふれ愛フェスタに11月3日の月曜日12時から10月29日の例会を振替え、テレビ塔の一階にある「猿カフェ」にて秋の家族会として例会を開催しました。

当日は天気も回復し、会員45名、家族15名のご参加を頂き、当日都合のつかない方々40名は他の開催日に参加されました。例会場にて、会長挨拶、幹事報告、WFFの見所を解説し、参加された方々は思い思いに、会員の家族共に例会場内や屋外にて配布されたランチボックスを楽しみ、その後、WFF会場を見学並びに世界のフードを楽しみながらゆったりとした休日の午後を過ごしました。昨年に引き続き、開催が2回目と言うこともあり、昨年も参加した会員たちは手慣れた様子でイベントを楽しみました。

会場の一番南に位置する希望の広場ではローターアクトがバザーのブースを出店し、その前あたりには当クラブが地区補助金を申請して進行中の「ネパール女性の職業支援」のパネルも展示されていました。

運営をされている方々のご尽力に感謝すると共に毎年、開催内容が濃くなっていますので来年も継続して開催されることを期待しています。

おつかれさまでした。



稲沢ロータリークラブ

開催日：2014年11月3日（月・祝）

報告：幹事 永井伸治

稲沢ロータリークラブは、11月3日、第2回ワールドフード＋ふれ愛フェスタが開催されている久屋大通公園内にて第2495回例会を開催することによってジャパンロータリーデーに参加することにしました。当日は朝から、県内各地のゆるキャラが会場内の来場者を和ませましたが、稲沢市のゆるキャラ「いなッピー」もこれに参加し、大人から子どもまで多くの人が立ち止まって握手をし、一緒に写真を撮るなどのシーンが多くありました。

稲沢ロータリークラブの社会奉仕活動として、北津島病院様といぼりの里様の入所者様、職員様併せて約50名の方々にWFFクーポンチケットを100枚贈呈し、当日は会場内で各国の食べ物や飲み物を楽しんでいただきました。15時からテレビ塔下で開催した例会には、会員並びに会員家族、ビジターとして、北津島病院様、いぼりの里様の入所者の皆様、当日会場内でボランティア活動をしてくれた愛知啓成高校IAC様、米山記念奨学生ゲン・ハイヴァン君、そして、名古屋清須ロータリークラブ後藤鈴明会長他5名の会員の皆様併せ、総勢約80名の皆様に参加していただきました。北津島病院 林事務長といぼりの里 黒川施設長からは、「知的障害者施設入所者をこういう場所に連れ出すことができて良かった。」と感想を述べていただきました。

WFF終了後、18時からは、会場に程近い「ラシェット・ドゥ・シバタ」にて、会員18名、家族13名、事務局1名、合計32名参加で懇親会を行ない、家族間の親睦を深めました。イタリアンコースディナーとワイン、シェ・シバタならではのスイーツも一緒に楽しみました。





一宮ロータリークラブ

開催日：2014年11月8日(土)

報告：会長 磯部 茂

11月8日(土)一宮ロータリークラブは過去15年間継続事業として行ってきた「大江川クリーン作戦」を本年度はロータリーデーとして開催いたしました。

もともとこの事業はグラウンドワークの環境保全を目指すグループと当一宮ロータリークラブが始めた地元河川をきれいにし、すべての生物が自然に生きていけるビオトープを整える目的で進められました。

年を重ねるごとに、行政、地元企業、ボランティアグループなど参加団体も増え、事業主体も実行委員会として組織化され、当クラブの会員である酒井孝が実行委員長の任を永年務めてまいりました。本年度からは当該年度の社会奉仕委員長が務めるよう変更しています。

ロータリーが継続事業をしていくことの是非は問われるところですが、発起した責任と組織の広がりを考慮するとやむを得ない面もあるのかなと思っています。

さて当日は天候にも恵まれ午前9時から一斉に清掃活動に入りました。かつては粗大ゴミがたくさん投げ入れられており大変でしたが、昨今では市民意識も向上し随分きれいな状態となっていて2時間ほどで終了し、皆でおにぎりや豚汁をいただきながら歓談しすがすがしい気分になりました。

尚、当クラブで用意した記念品もすべてなくなる程の盛況で、参加人数は700人強と思われました。



ロータリーコーディネーター ニュース

- 1 月号 -

「R I 戦略計画」から「クラブの戦略計画」へ

第2ゾーンRC 金杉 誠 (文責、及び質問は金杉 Makoto.Kanasugi@ysl.co.jp まで)



2014年3月に国際ロータリーはロータリアン67千人に対して**R I 戦略計画に関するアンケート調査**を実施いたしました。その結果R I 戦略計画への支持は極めて高く、又地区やクラブで戦略計画を立てる必要性に対しても**97%のロータリアンが賛成**をしております。一方**クラブで戦略計画があるという回答は45%**となっておりますが、さて皆様方のクラブは如何でしょうか？私が実際に各地区の研修に呼ばれた時の感触では、クラブで戦略計画を立てて実行しているクラブは未だほんの一握りではないでしょうか？「又R I が難しいことを言ってきたな、ここは少し様子を見て」と言ったところではないでしょうか？

戦略計画は皆様方の為のものです。ロータリーという組織は本質的に分権的なもの、即ち各クラブが自由に運営できる部分が非常に多い。それはそれでよいことだと思いますが、一方クラブにすべてを任せると**単年度主義**の弊害というものも目立ってきたように思われます。自分が会長の1年間頑張ればよい、前例踏襲を由とする文化です。これがもし営利企業であったら如何でしょうか？売り上げが三分の二に減ったら何かしかるべき対策を立てるのではないのでしょうか？それも**長期的な方向性**を。皆様方が本当にロータリーを好きならば(そう信じていますが)是非立ち上がって頂きたいのです。現実に先ほどのアンケート調査でも**戦略計画を持っているクラブ**のほうが、そうでないクラブよりも**会員満足度が16%も良い**という結果が出ております。もちろんロータリーの性質から言って決して強制しているわけではありません。問題が多いと感じたらこうしたら如何ですかとのご提案です。

R I 戦略計画は120万人のロータリアンの為のものです。皆様方のクラブに同じようなものを求めているではありません。10人のクラブや100人を超えるクラブ、地方のクラブや都会のクラブ、全部同じようなものを作る必要は全くないのです。時々「戦略計画立案ガイド」が使い難いという声も聞きますが、それは参考にする程度で十分です。大切なことはクラブの**メンバー全員が参加**して、皆平等な立場で前向きな声を収集するという事です。又良く時間がないと言う声も聞きます。**例会の時間**を使えば良いのではないのでしょうか？何も例会の時間は卓話を聞かなければいけないという決まりなんかありません。自分たちのクラブを少しでも良くするために、皆で話し合いをしたほうが時にはよほど盛り上がるのではないのでしょうか？

戦略計画策定にあたってのポイントを私なりに考えますと**会員増強計画**は外せないと思います。**組織改革や無理のない広報計画**、クラブによっては合併あるいは新クラブの設立も必要かもしれません。**奉仕活動の現状と将来、例会の柔軟性の確保や経費の見直し、リーダーシップ研修等々**。もちろん全部網羅する必要などないのです。肝心なことは形式ではなく、自分たちのクラブがより良くなるための方策を皆で**良く膝を交えて話し合**って頂きたい、そしてどんなに簡単でもよいからそれをまとめれば立派な戦略計画だと思います。

文庫通信 -327-

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

■ 古典文献より (3)

- ◎ 「ロータリー感想」 佐藤昌介 1933 2p (札幌ロータリアン第一号)
- ◎ 「ガバナス、マンスリ、レター」 井坂 孝 D.70 1933 9p (第八号)
- ◎ 「何故にロータリーを疑ふ」 村田省蔵 D.70 1933 3p (ガバナー月報第六信)
- ◎ 「伊達にはつけぬ襟のバッヂ」 村田省蔵 D.70 1934 1p (ガバナー月報第七信)
- ◎ 「米山長老の大演説」 米山梅吉 D.70 1937 3p (ロータリー月報第四報)
- ◎ 「戦争と宣伝」 米山梅吉 D.70 1937 5p (国際ロータリー月報十一月号)
- ◎ 「僕はロータリーをやめぬ」 D.70 1937 1p (国際ロータリー月報十一月号)
- ◎ 「村田元ガバナーに『非常時ロータリアンの覚悟』を聞く」 一記者 D.70 1937 4p (国際ロータリー月報十二月号)
- ◎ 「ロータリー倶楽部を善用せよ」 廣田弘毅 D.70 1938 2p (国際ロータリー月報四月号)
- ◎ 「ロータリーとは何ぞや—某大官に対してロータリーを説明す」 D.70 1938 2p (国際ロータリー月報四月号)
- ◎ 「ロータリー精神の積極的発揚」 里見純吉 D.70 1938 2p (国際ロータリー月報五月号)
- ◎ 「日満ロータリー解散文書」 米山梅吉 1940 3p (郡山R.C. 三十五年史)

[上記申込先：ロータリー文庫]

<ロータリー文庫>

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル3F

TEL: 03-3433-6456 FAX: 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

● 2014-2015年度 ガバナー月信 個人配信 登録方法 ●

第2760地区ホームページより、随時受付中!

<ホームページアドレス> <http://www.rotary2760.org/>

- ① 第2760地区のホームページを開き、上部メニューのガバナー情報→ガバナー月信をクリックします。
- ② メルマガ登録という部分に、自分のメールアドレスを2回入力して、登録ボタンをクリックすれば登録完了となります。登録された方には、月初めに月信PDFのリンクが記載されたメールが送信されます。メール内のURLをクリックするだけで月信PDFがダウンロードされ、閲覧していただけます。

メルマガ登録	
メールアドレス	<input type="text"/>
ス	<input type="text"/>
(確認用)	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/>	

前年度登録されていた方は、再登録の必要はありません

会員数及び出席報告 (平成 26 年 11 月末)

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	11月 出席率
		2014年 7月1日	2014年 7/1女性	2014年 11月末日		11月	累計	11月	累計		
南尾張分区	半田	62	4	64	4	0	3	1	1	4	100.00%
	常滑	39	0	38	0	0	0	0	1	4	95.11%
	東海	53	2	56	3	0	4	0	1	4	95.97%
	東知多	19	1	21	1	0	2	0	0	4	73.81%
	半田南	38	1	36	1	0	0	0	2	4	99.29%
	知多	27	3	30	3	1	3	0	0	2	88.89%
	大府	16	0	16	0	0	0	0	0	4	70.00%
	7RC	254	11	261	12	1	12	1	5		89.01%
	西尾張分区	一宮	89	1	91	1	0	3	0	1	4
津島		63	4	67	4	0	4	0	0	4	100.00%
尾西		20	1	20	1	0	0	0	0	2	100.00%
一宮北		38	2	38	2	0	0	0	0	4	91.97%
稲沢		55	1	55	1	0	0	0	0	4	81.87%
あま		79	2	79	2	0	1	0	1	2	100.00%
名古屋清須		28	1	31	2	0	3	0	0	4	92.59%
尾張中央		30	0	33	0	0	3	0	0	4	94.76%
一宮中央		42	6	42	6	0	0	0	0	3	96.83%
9RC	444	18	456	19	0	14	0	2		95.12%	
東尾張分区	瀬戸	64	6	64	6	0	2	0	2	4	98.00%
	犬山	59	0	61	0	0	2	0	0	4	100.00%
	江南	49	0	48	0	0	0	0	1	4	95.13%
	小牧	30	2	30	2	0	0	0	0	4	84.38%
	春日井	56	2	58	2	0	2	0	0	4	98.71%
	尾張旭	25	1	25	1	0	0	0	0	4	96.00%
	名古屋空港	54	1	55	1	0	1	0	0	2	97.96%
	瀬戸北	66	7	66	7	0	0	0	0	4	100.00%
	岩倉	15	1	15	1	0	0	0	0	4	96.67%
	名古屋城北	31	5	31	5	0	1	0	1	4	93.61%
	愛知長久手	20	5	20	5	0	0	0	0	2	97.50%
	愛知-刈-Eクラブ	22	7	21	7	0	1	2	2	4	100.00%
	12RC	491	37	494	37	0	9	2	6		96.50%
	西名古屋分区	名古屋	182	0	189	0	0	9	0	2	4
名古屋西		96	0	104	0	0	8	0	0	4	83.17%
名古屋南		119	0	122	0	0	3	0	0	2	97.26%
名古屋みなと		71	0	71	0	0	0	0	0	4	100.00%
名古屋東南		77	6	82	6	0	5	0	0	4	94.53%
名古屋中		130	0	129	0	0	1	0	2	2	98.74%
名古屋瑞穂		63	0	63	0	0	0	0	0	4	100.00%
名古屋大須		57	5	60	6	0	3	0	0	4	89.38%
名古屋栄		82	0	84	0	1	2	0	0	2	93.91%
名古屋名南		54	8	52	8	0	0	0	2	4	89.54%
名古屋名駅		80	6	85	6	2	7	0	2	4	99.69%
名古屋丸の内		44	7	47	8	0	3	0	0	4	95.37%
中部名古屋みらい		22	7	22	7	0	0	0	0	4	37.50%
13RC		1,077	39	1,110	41	3	41	0	8		89.79%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	11月 出席率
		2014年 7月1日	2014年 7/1女性	2014年 11月末日		11月	累計	11月	累計		
東名古屋分区	名古屋北	91	0	94	0	2	4	0	1	4	98.68%
	名古屋東	87	0	88	0	0	2	0	1	3	91.40%
	名古屋守山	39	3	40	3	0	1	0	0	4	87.26%
	名古屋和合	104	0	104	0	0	0	0	0	4	79.17%
	名古屋名東	59	7	60	7	0	3	0	2	3	96.78%
	名古屋名北	38	5	38	5	0	0	0	0	4	97.06%
	名古屋千種	41	3	41	3	0	0	0	0	4	92.84%
	名古屋昭和	51	2	52	2	0	1	0	0	2	97.78%
	名古屋錦	29	9	29	9	0	0	0	0	4	83.28%
	名古屋東山	31	4	35	7	1	4	0	0	4	91.02%
	名古屋葵	19	0	20	0	0	1	0	0	4	60.00%
	名古屋アイリス	33	12	35	13	1	2	0	0	4	88.64%
	12RC	622	45	636	49	4	18	0	4		88.66%
	東三河分区	豊橋	116	3	116	3	0	2	0	2	4
蒲郡		56	0	54	0	0	0	1	2	4	90.24%
豊橋北		73	4	74	4	1	1	0	0	4	95.77%
豊川		71	1	71	1	1	1	0	1	4	97.66%
田原		43	1	43	1	0	0	0	0	5	91.00%
豊橋南		56	0	57	0	0	1	0	0	3	96.86%
新城		43	2	43	2	0	0	0	0	5	77.43%
渥美		33	0	34	0	0	1	0	0	4	82.80%
奥三河		15	3	15	3	0	0	0	0	4	91.07%
豊川宝飯		54	2	59	2	0	5	0	0	4	95.22%
豊橋ゴールデン		64	2	66	2	0	2	0	0	4	98.76%
田原バシフィック		48	1	50	1	0	2	0	0	5	84.42%
豊橋東		42	0	43	0	0	1	0	0	4	92.26%
13RC		714	19	725	19	2	16	1	5		91.08%
西三河分区	岡崎	77	3	85	3	0	8	0	0	4	100.00%
	豊田	93	0	93	0	0	0	0	0	4	99.71%
	岡崎南	95	2	94	2	0	1	0	2	4	99.44%
	豊田西	95	1	94	0	0	2	0	3	2	99.35%
	岡崎東	57	1	60	1	0	3	0	0	4	99.55%
	豊田東	77	0	78	0	0	1	0	0	4	94.37%
	岡崎城南	74	0	74	0	0	0	0	0	4	91.00%
	豊田三好	19	0	20	0	0	1	0	0	3	89.81%
	豊田中	40	6	42	6	0	3	0	1	4	100.00%
	9RC	627	13	640	12	0	19	0	6		97.03%
西三河分区	刈谷	94	4	93	4	0	2	0	3	2	100.00%
	安城	61	4	61	4	0	1	0	1	4	97.06%
	西尾	77	1	80	1	0	4	0	1	4	96.72%
	碧南	68	3	69	3	0	3	0	2	4	100.00%
	西尾一色	25	0	27	0	0	2	0	0	4	100.00%
	高浜	33	2	33	2	0	0	0	0	4	100.00%
	知立	61	0	60	0	0	1	0	2	4	100.00%
	西尾KIRARA	58	0	58	0	0	0	0	0	4	100.00%
	三河安城	64	6	64	6	0	0	0	0	4	95.20%
9RC	541	20	545	20	0	13	0	9		98.78%	

	クラブ	平均
平均出席率	84	93.24%

地区内クラブ数 84 R C	2014年7月1日会員数	4,770名	内女性 202名	増加会員数(累計)	142名
	2014年11月末会員数	4,867名	内女性 209名	減少会員数(累計)	45名
	当月平均出席率	93.24%		差引純増会員数(累計)	97名

11月	入会	退会	純増
	10名	4名	6名